

## 事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

## 【事務事業の基本的事項】

事務事業名	桜保護管理費			
担当課係名	文化財課	文化財係	作成者	黒坂 登
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ
	基本計画	芸術文化活動の振興と文化財の保護		
	主要施策	サクラの肥培管理		100
予算費目	一般会計	10款 教育費	5項 社会教育費	4目 文化財保護管理
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規/継続の区分		継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	文化財保護法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

## 【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	先人達が残してくれた大切に護っていくとともに、全国の桜の名所としてふさわしい桜を多くの観光客に見せる。間接的に仙北市に来ることによって、交流人口とともに経済効果を図る。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	名勝指定、天然記念物指定のサクラを良好に管理する。(文化財法により管理団体に指定されている。)他市指定のサクラ、指定外の落合公園、落合堤の桜並木の最低限の管理を行う。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	テングス病枝及び枯枝整枝・施肥・草刈・病虫害防除・雪落し・樹勢回復等の作業を実施する。(賃金：作業員、消耗品：肥料・土壌改良材・殺虫剤他、使用料及び賃借料：高所作業車、クレーン他)有害鳥獣ウソ駆除委託、樹木保険契約締結を実施する。

## 【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	桜管理本数	本	1,500	1,500	
		天然記念物本数	本	152	152	
	成果指標	名勝桜本数	本	409	409	
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			3,360	2,563	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源		3,360	2,563	
	人件費(B)			7,853	8,071	
		職員数		1.0	1.0	
		職員平均人件費		7,853	8,071	
(A)+(B)投下コスト			11,213	10,634		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			7,475	7,089	
	市民1人当たりのコスト(円)			352	339	

【事務事業の今までの成果】

桜管理は欠かすことのできない事業であり、最も安価な直営管理で実施し、市民や140万以上の観光客に良い本物の桜を見ていただいている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	全国自治体に着目され、見本となる事業であるが、先進地の弘前市に比し1/6の小予算である。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	毎年、見事な桜を期待される重圧の中、期待に応えるべく年間を通し励んでいる。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続(実施)	わずか1週間の開花のため、年間通しての管理が必要であり、全国に知られる桜名所として継続して行かなければならない。
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	国指定の名勝、天然記念物のサクラの保護については、重要な保護活動であり引き続き必要な事業と考える。

一次評価診断図

